



ウトナイ中学校だより

# ハシカブ



校訓：文武両道

学校教育目標：創造 自律 挑戦

令和8年4月27日（月）

第1号

## 本校の学校経営（教育）方針について

～令和8年度の始まりに寄せて～

苫小牧市立ウトナイ中学校長 山 岸 弘 昇

令和8年度が始まり1ヶ月が経とうとしております。今年度もよろしくお願ひいたします。第1号の発行にあたり、学校経営方針（教育方針）の概要を掲載いたします。ご一読いただき今後の教育活動にご協力をお願い申し上げます。（学校経営計画より抜粋）

### 1 校訓「文武両道」

文武両道は、勉強と課外活動の両立に励むということであり、何事にも一生懸命に取り組む姿勢を目指しています。発達途上の生徒に対しては過程（プロセス）も重視します。

### 2 学校教育目標「創造・自律・挑戦」

■創造（確かな学力の定着）……「未来に向け よりよい自分をつくり上げよう」

■自律（豊かな人間性の育成）…「自ら考え 責任をもって行動しよう」

■挑戦（健やかな体の育成）……「強い心と体で 困難に立ち向かおう」

教育目標の土台として「**人・夢・命**」を大切にすることを機会がある度に伝えます。

### 3 学校経営のキーワードおよびコンセプト

(1) キーワード 協調・協働 ～**生徒も教師も創造・自律・挑戦**～

(2) コンセプト

①シェア…生徒の幸福と成長を願い、課題と目標を共有する学校経営

②クリア…情報発信に努め、教育内容に理解いただける学校経営

③スマート…効率化を進めながらも、教育効果を追求する学校経営

(3) 学校課題（令和8年度重点）

①学習意欲、学力・体力の向上

②主体性、自己指導能力、自治能力の向上

③教職員の意識改革（働き方・コンプライアンス）

### 4 目指す姿

(1) 生徒像

①未来を見つめることができる15歳（創造）→自ら学ぶ学習習慣の確立に向けた取組の推進

②自分を見つめることができる15歳（自律）→自分の良さを知り、決断する力の育成に向けた取組の推進

③夢に向かって進むことができる15歳（挑戦）→内発的動機付けに基づく、自己実現に向けた取組の推進

(2) 教師像

①主体的に学び、生徒に還元する教師

②生徒の良さを引き出し、生徒の自己決定に伴走する教師

③生徒の変化を敏感に察知し、対処できる教師（よく気づき、動く）

(3) 学校像

①夢や希望を実現する学校

②自由と正義、明るさにあふれる学校

③歌声が響く美しい学校

④地域と仲間（人）を大切にしている学校

※**学校は生徒が主役**であることから、生徒自治の校風（自立と自律）を確立するため、教職員は右の項目に留意しながら、必要な支援、指導をタイミングを考慮して行います。

※将来の自立を見据え、ご家庭でも同一歩調でお力添えいただければ幸甚です。

1)生徒に考えさせる

2)生徒に決めさせる

3)生徒に任せる

4)失敗を責めない（挑戦を讃える）

## 5 教育指導

### (1) 確かな学力の定着（創造）

- ①学習指導…授業改善を進め学習意欲、学力の向上を図ります。
- ②総合的な学習の時間…教科等横断的、探求的な学習により問題発見・解決能力を育みます。
- ③キャリア教育…社会的・職業的自立に向け、進路学習、体験を通じてキャリア発達を促します。
- ④特別支援教育…適切なアセスメントにより、個々のニーズに合った支援を行います。

### (2) 豊かな人間性の育成（自律）

- ①生徒指導…自己指導能力を育成し、自立と自律を促します。必要な指導はしっかり行います。
- ②道徳教育…主体的・自律的な判断の下に行動できる道徳的心情、実践力を育みます。
- ③特別活動…集団（小さな社会）の一員として、活動に主体的に取り組む態度を育みます。

### (3) 健やかな体の育成（挑戦）

- ①体力及び運動能力の向上…生涯を通じてスポーツを愛好できる技能と心情を育みます。
- ②部活動等の活性化…スポーツ活動の場を提供し、地域スポーツを支えます。（部活動の地域展開を推進）
- ③安全指導…生命を尊重し、心身ともに健康で安全な生活を営む態度を育みます。

## 新入生に伝えたこと ～入学式式辞から～

9日（木）に挙行了した入学式において、私から新入生に伝えた言葉を抜粋しました。2、3年生にも通じる内容ですので、考え方を共有できればと思っています。

### 1 初心を忘れない

去る3月19日、私（校長）はウトナイ小学校の卒業式に参加しました。その時にいただいた卒業のしおりには、一人一人の将来の夢が書かれていました。具体的な職業を挙げている人、スポーツ選手と書いている人、まだ決まっていないという人など様々でした。ただ、文章の締めくくりには、夢を実現させる、もしくは、夢を見つけるために、中学校で何をどう頑張るのが書かれていました。よりよい自分、なりたい自分になるためには、自分を理解し、意志を強くもつこと、努力を続け、習慣づけること、失敗しても簡単にあきらめないことが大切です。1年生が小学校卒業前に書いたことや考えたことは中学校生活をスタートさせるうえでの初心です。初心を忘れず、授業や生徒会活動、行事、校外外で行われる課外活動に主体的に取り組み、夢に近づいてほしいと思います。

### 2 校訓（文武両道）、教育目標（創造・自律・挑戦）を意識する

校訓や教育目標にはウト中生としてあるべき姿が表現されています。また、ウトナイ宣言やウトナイスタンダードスタイルといった、**生徒主体**で決めたルールがあります。詳しくは生徒会長を筆頭に第8期執行部がオリエンテーションで丁寧に説明しますのでここでは割愛しますが、中学校で大切にしていること、中学生として求められることを理解して、伝統に厚みを加える立役者になってほしいと思っています。

### 3 人を大切にする

このことは私が事ある度に全校生徒の前で話していることです。本日中学校に入学し、初対面の先生、初めて同じクラスになった生徒など、新たな出会いがありました。**出会った人からは学ぶことがたくさんあります**。人との関わりを通して、考え方の幅が広がり、何が自分の成長に必要なか気づくことができます。自分の人生を豊かにするために他者との関わりは欠かせません。人を大切にする3年間にしてください。

## 学校だよりのタイトル、スクールカラーについて

ラムサール条約登録湿地であるウトナイ湖を有する勇払原野で自生するハスカップ、その語源であるアイヌ語のハシカプ（枝の上にたくさんなるもの）から、学校という大きな木の枝に、生徒、保護者、地域、そして教職員の願いが実るよという思いを込めています。本校のスクールカラーもハスカップの色にちなみ「ピオニーパープル」となっております。**校旗も紫**です。



## 第8回入学式

4月9日(木)、第8回入学式が行われ、新入生140名が本校へ入学いたしました。多数の保護者の皆様や地域のご来賓の方々が見守る中、新入生は堂々とした態度で入場し、担任からの呼名にも元気よく返事することができました。2・3年生もウトナイ中の伝統である素晴らしい合唱を披露し、花を添えてくれました。新しい仲間が加わった新生ウトナイ中学校の更なる発展に期待します。



## 個人情報の取り扱いについて

今年度も学校行事の様子などについて学校だよりや学校ホームページで紹介したり、新聞などで報道されることがあります。その際に生徒のコメントや写真、氏名などの個人情報が紙面に掲載される場合もありますので、氏名、写真などの個人情報の掲載を控えてほしいなどのご要望がありましたら、遠慮なく学校まで連絡してください。

## 自転車ルール厳罰化による詐欺

最近、自転車を対象とした交通違反の取り締まり強化に伴い、「犯則金」を要求する詐欺が増えていきます。管内においても、自転車で帰宅途中の中学生が、警察を名乗る男性に「交通違反なので罰金を払ってもらいます。」と声をかけられ、金銭を要求される事案が発生しています。警察官が、その場で直接反則金を徴収することはありませんので、同様の被害に遭わないようご家庭でもご指導よろしくお願いいたします。

また、気候も温暖になり自転車を利用する機会も増えてくると思いますが交通事故防止のため、ヘルメットの着用、一時停止や二人乗りなどの交通ルールの遵守、スマートフォンやイヤホンを使用しながらの運転は絶対にしないなど自転車の正しい乗り方についてもご確認とご指導をお願いいたします。

## 5月の主な行事予定

- 1日(金) 尿検査1次
- 7日(木) 生徒総会
- 8日(金) 全国学力学習状況調査(英語)
- 11日(月) 修学旅行結団式  
1・2年教育相談①
- 12日(火) 3年修学旅行1日目  
1・2年教育相談②
- 13日(水) 3年修学旅行2日目  
1・2年教育相談③
- 14日(木) 3年修学旅行3日目  
1・2年教育相談④
- 15日(金) 1・2年教育相談⑤  
3年生回復休業
- 19日(火) 職員会議
- 20日(水) スクールカウンセラー(午前)  
尿検査2次
- 22日(金) 英検
- 26日(火) 体育祭総練習
- 27日(水) 諸費口座振替日
- 28日(木) 体育祭会場設営
- 29日(金) 体育祭

ウトナイ中学校ホームページ (URL)

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/utonai-jhs/>

発行者 苫小牧市立ウトナイ中学校 校長：山岸 弘昇 編集責任者：白鳥 博丈(教頭)  
苫小牧市ウトナイ北2丁目5番1号 電話(0144)57-6451 FAX(0144)57-6452